

再生可能エネルギーを最大限創出

新潟県 十日町市 ◆ 人口 49,177人 ◆ 高齢化率40.61%

- ※ 平年の積雪深が2メートルを超える世界でも有数の**豪雪地**
- ※ 米どころ新潟の「**魚沼産コシヒカリ**」産地
- ※ 世界最大級現代アート祭典「**越後妻有 大地の芸術祭**」の開催地
(2022年入込客数 **574,138**人)
- ※ **日本遺産**に認定「究極の雪国とおかまち ー真説！豪雪地ものがたりー」



自治体
紹介
《特徴》



地方から推し進める「再生可能エネルギー創出」への挑戦

- 2016.03 十日町市バイオマス産業都市構想
“2025年までに市内消費電力量30万MWhのうち、30%を再生可能エネルギーで創出する”目標を掲げる。
- 2016.10 国の「**バイオマス産業都市**」に認定
- 2017.03 十日町市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
- 2020.06 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明 ※国より先行表明
- 2021.03 十日町市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）策定
- 2023.05 十日町市ゼロカーボンロードマップ策定

これまでの
取り組み



課題

これまでに、「**使用済み紙おむつの燃料化実証事業**」や「**松之山温泉地熱バイナリー発電**」など、官民連携で発信力のある事業実績を有しています。また、家庭や事業所向けに**県内トップクラス**の再生可能エネルギー利用設備の導入**補助を行う**など、市民と協働で再生可能エネルギーへの利用転換を図っています。

➔ **今後は、脱炭素に向けた取組みのさらなる加速が必要です。**

事業の目的

- ◆市総合計画に掲げる再生可能エネルギー創出量30%の達成
 - ◆2050年までのゼロカーボンシティの実現
 - ◆地域の脱炭素化
-
- ◆太陽光、水力、地熱などの自然エネルギーやバイオマスなど、当市の豊富な地域資源の活用、市民との協働により、化石燃料から再生可能エネルギーへの転換を進め、地域の脱炭素化を目指します。
 - ◆当市は、**日本有数の豪雪地**ですが、**積雪地に適した方法での公共施設への太陽光発電設備の導入の加速化**、農業用水利用の小水力発電の実現など、再生可能エネルギーのさらなる創出に向けた取組みを行います。

事業内容



市役所庁舎の太陽光発電設備



市内小学校の太陽光発電設備

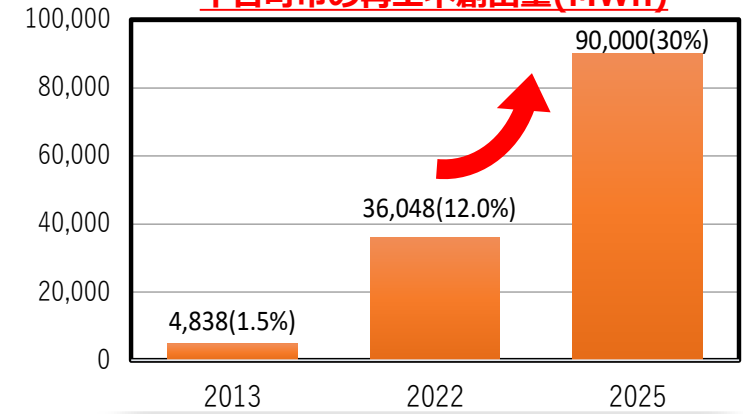


ペレット燃料



使用済み紙おむつの燃料化実証施設

十日町市の再エネ創出量(MWh)



松之山温泉地熱バイナリー発電所

寄付金の
活用方法

- ◆既存の再生可能エネルギー事業への充当。
- ◆新規の発電及び熱利用事業へ資金活用させていただきます。

1. SDGs・社会貢献企業としてのPR（企業イメージの向上）
2. 企業の「ESGスコア」の獲得（見込み）

ESG活動の促進

Environment（環境）／Social（社会）／Governance（企業統治）

E：地球温暖化対策

E：脱炭素

E：循環型社会

E：再生可能エネルギー

E：太陽光発電

E：水力発電

E：地熱発電

3. 十日町市公式ホームページでのご紹介
4. 市長からの感謝状（原則、郵送☑）
5. 企業版ふるさと納税を活用した事業で、税負担が軽減
6. ESG活動レポートを交付
7. 視察で十日町市へお越しのお客様（**地方自治体・関連企業**の皆様）からの認知度UP

- ◆企業版ふるさと納税によるご支援
- ◆地域の脱炭素化にチャレンジする十日町市の取り組みへのご賛同

「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」

の**実現**を目指します

企業様の
メリット

企業様に
期待すること

最終目標

担当課・連絡先

新潟県十日町市 環境エネルギー部 環境衛生課 エネルギー政策係

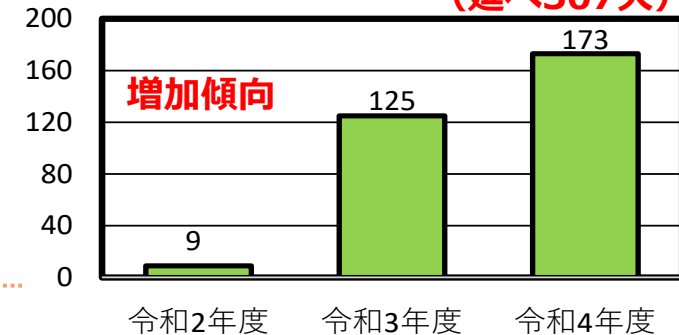
◆Tel : 025-752-3924 (課直通) ◆FAX : 025-757-1751

◆mail : t-kankyo@city.tokamachi.lg.jp



使用済み紙おむつの燃料化実証施設が
テレビ取材されました (R5.1.27)

市内取組事例への視察者数 (延べ307人)



新潟県内をはじめ、北海道、岩手県、長野県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、岐阜県、福岡県から、たくさんの方々にお越しいただいています！

